

【取組内容①】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

～跳び箱における体の動き・フォームの確認～

川西小学校2年生 体育

I. 跳び箱運動を行う際、自身の体がどのように動いているのか、また上手に跳躍するためにはどんなフォームが必要かを学びたい児童の声から、タブレットの写真・動画撮影機能を使い、友達と互いに撮影を行いデータを記録する。鮮明に撮影する機器の扱いの学習にも繋がった。



II. 撮影した写真・動画の撮影データをその場で確認し、撮影ができていないかをチェック。撮影データを見て、跳躍の場面ごとのフォームや、踏切板を踏み切る場所や手を付く位置、開脚の大きさや着地時の姿勢などを、繰り返し動画を早戻し・早送りしながら確認後反復練習へと繋がっていた。

III. 別時間に教室の電子黒板を用いて、撮影したデータを共有することで、跳躍が苦手な児童が他者の体の動きをしっかりと確認する時間を取る。また、得意な児童からコツを共有して他者参照に繋げることができた。データをClassroomに共有し、好きな時に動画をチェックできるようにすることで学習機会の提供、意欲醸成に繋がった。

